

令和5年度事業報告書		事業所名	デイ城山	作成者	榊原 翔	作成日	R6.3.31
目標	本年テーマ	(計画)「できないからできるに変わる」→認知症予防サービスのシステム化・新加算算定を踏まえた準備期間					
		(評価) 今期、モフトレを導入し、新たな機能訓練体制の構築を行い新加算の算定を開始することができた。					
基本処遇及び運営	■令和5年度処遇及び運営方針に対する評価						
	(計画) ①受容と共感・・・相手の話を聞く姿勢・話しやすい雰囲気作り・否定的な行動・言動を避ける。自己覚知内部教育訓練の開催。						
	②リハビリメニューのシステム化(コグニサイズ+巧緻訓練+認知症予防栄養教室+モフトレ)・・・ウェアラブル端末を使った新プログラムの導入。						
	③地域と繋がる活動・・・サロン会・行事の招待等						
	(評価)						
	今期は、新たな機能訓練メニューを導入し、ご利用者様・ご家族様・各居宅介護支援事業所様にご理解						
	いただき、モフトレを開始させていただきました。当事業所としても初めての試みであり、導入当初は、ご利用						
	者様・ご家族様も戸惑いもありましたが、城山独自の運動メニューを多数用意し、現在では独自プログラム						
	として運用することができ、新たな加算取得に繋がり、新規のご利用者様もご紹介をいただく結果となりました。						
研修・セミナー	■職員研修計画と実績						
		研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		認知症実践者研修	1名参加	介護支援専門員実務者研修	1名		
		安全運転管理者講習	1名参加				
		加算算定における研修会	1名参加				
		認知症状改善を目的としたレクリエーション	募集無しの為不参加				
		認知症の人への対処法について～介護現場で役立つ認知症ケアメソッド～	募集無しの為不参加				
		認知症の方の為の介護技術～こころと体を動かすコツ～	募集無しの為不参加				
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果		
		事業部会議	計画通り実施し、数値の達成状況や検討事項、勉強会を行った。	【法人指定委員会】			
		営業会議	計画通り実施。事業所内での検討課題に対し提起した。	教育委員会	1名参加(榊原)		
		給食会議	計画通り実施。利用者からの食事ニーズの検証や新メニューを検討した。	ブランディング委員会	1名参加(西原)		
		業務改善委員会	計画通り実施。各セクションの業務マニュアル策定や新人職員の業務進捗状況、職員の働き方の検証を行った。	相談員会議	1名参加(西原)		
		事故予防・発生対応委員会	計画通り実施。法定内研修を実施。車両事故の検証を含む勉強会を実施した。	法人安全衛生委員会	1名参加(田上)		
		身体拘束委員会	計画通り実施。法定内研修を実施。スピーチロックを含む不適切なケアを勉強した。				
		感染症対策委員会	計画通り実施。法定内研修を実施。ガウンテクニックを含む感染予防対策や吐物処理に関する勉強会を実施。				

■災害訓練計画・実績				
防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	R5.9	R5.9	地震を想定した避難訓練・消火訓練・通報訓練・防災講義	事業所内の避難器具説明・避難誘導灯・避難口の確認・地震発生時の初動動作の確認を行った。
	R6.3	R6.3	地震を想定した避難訓練・消火訓練・通報訓練	事業所内の避難器具説明・避難誘導灯・避難口の確認・地震発生時の初動動作の確認・模擬通報・消火訓練を行った。

■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)	
月度	
4月	事業部会議 高齢者虐待と権利擁護について
	花見会 創作活動
5月	運動会 創作活動
6月	事業部会議 緊急時対応(BCP・介護事故・車両事故)不審者対策について
	認知症予防栄養教室 創作活動
7月	昼食会 創作活動
8月	事業部会議 法令遵守について
	そうめん流し 創作活動
9月	敬老会 創作活動
10月	事業部会議 認知症ケアについて
	秋祭り 創作活動
11月	認知症予防栄養教室 創作活動
12月	事業部会議感染予防対策について(ガウンテクニック・吐物処理方法について)
	創作活動
1月	新年会 創作活動
2月	事業部会議 腰痛予防について(座学・実技)
	節分会 創作活動
3月	事業部会議 ハラスメントについて
	おやつ作り 創作活動

(総評)

今期は、城山のサービスは、「お風呂・食事」というイメージから脱却する為に、新たなメニューを取り入れ、城山独自の機能訓練メニューを導入しました。導入当初は、ご利用者様・ご家族様からも戸惑いの声が多くありましたが、月を重ねるにつれ、運動機能測定やメニューの計画等の説明を行い、現在では、ご利用者様・ご家族様からお褒めの声をいただくことも増え、通所される中でご利用者様が「ムリなく・楽しく・続けられる」運動の機会を提供することができました。又、既存の認知症予防メニュー(巧緻訓練・創作活動・月間行事メニュー)も充実化を図り、認知症予防に特化した施設作りを意識し、職員一丸となり、取り組みました。その結果、以前は要介護状態のご利用者様が主ではありましたが、機能訓練を希望とされるご利用者様も増え、総合事業対象者(要支援1～2)の方のご紹介も増え、新たなデイ城山としてのサービスを構築できたことは良かったと感じています。今後の課題としては、現在の取り組みに対し、ご利用者様一人一人に出来るだけ沿った訓練内容を提供し、ご本人様が望まれるリハメニューを提供することが必要であると感じています。

数値目標

年間利用者数9043名に対し、8778名。月間平均利用者数:29.2名に対し、28.3名となる。第2四半期以降、機能訓練プログラムを導入し、科学的介護連携推進加算・個別機能訓練加算も新たに算定を開始し、居宅介護支援事業所様より新規ご利用者様もご紹介いただくが、施設入所・ショートステイの回数増大により数値目標を達成することができなかった。